

「東京オリンピック・パラリンピック競技大会に併せた 首都圏産酒類のプロモーションイベント」の開催状況

【開催時期等】

日時：令和3年8月9日（月）～8月23日（月）までの15日間（11時30分～18時30分）

会場：東京スポーツスクエア本館1階（有楽町駅前）

主催：東京国税局

協力：日本酒造組合中央会、東京都酒造組合、東京七島酒造組合、東京都卸売酒販組合

東京小売酒販組合、千葉県酒造組合、神奈川県酒造組合、山梨県酒造組合

山梨県ワイン酒造組合

【展示内容等】

- 1 多数の**酒瓶と商品カードを展示**し、カードの二次元コードから酒蔵・ワイナリーのホームページにアクセス可能とすることで、首都圏（東京、千葉、神奈川及び山梨）の酒蔵等をPR。
- 2 **酒蔵ツーリズムを疑似体験**できる映像演出や、酒造りに関する動画の放映、パネル・ポスターの掲示などにより、首都圏産酒類への興味・関心を促す。
- 3 **酒類の臨時販売場を設置**し、首都圏産の酒類を販売。

【開催実績】

東京局ブース来場者数：3,600名（うち外国人：88名）

アンケート回答者数：123名（うちメディア関係：30名）

（※）来場者からの主な声

- ・ お酒が一堂に展示してあるのが良い
- ・ 首都圏にこれだけの酒蔵があるとは知らなかった
- ・ （映像を見て）コロナが収束したら是非酒蔵に行ってみたい



【酒蔵ツーリズム疑似体験の様子】



【首都圏産酒類のPR】



【臨時販売場の様子】